

## 第 22 回基準諮問会議

2014 年 11 月 19 日、財務会計基準機構（FASF）において第 22 回基準諮問会議（議長 野崎邦夫住友化学㈱代表取締役専務執行役員）を開催し、審議が行われました。詳細な内容については、財務会計基準機構ホームページ（<https://www.asb.or.jp/>）にて「議事概要」を公開していますので、ご覧ください。

### （審議事項）

#### 1. テーマ提案に関する運用について

従来、テーマ提言に至らないと結論がでたテーマについては「保留するテーマ」として繰り返していたが、これらのテーマは状況の変化があった場合でも、自動的に再度テーマ提言の候補となるものではない。よって、今後、名称を「審議の結果提言に至らなかったテーマ」に変更することとなった。

#### 2. テーマ提言について

前回までの基準諮問会議に新規テーマとして提案されたテーマについて、審議を行った。

##### (1) 会計基準レベル

「継続企業の前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発」及び「金融商品会計における上場関係会社株式の減損の取り扱い」については、次回以後の基準諮問会議で審議することとなった。

##### (2) 実務対応レベル

「加速型自社株買い（ASR：Accelerated Share Repurchase）の会計処理」及び「権利確定条件付きで従業員等に有償で発行される新株予約権の企業における会計処理」については、企業会計基準委員会（ASBJ）に新規テーマとして提言することとなった。

「総合型厚生年金基金の特例解散における会計処理」及び「厚生年金基金の代行部分に関する前納の会計処理」については、「審議の結果提言に至らなかったテーマ」となった。

#### 3. 企業会計基準委員会の最近の活動状況について

小野 ASBJ 委員長及び小賀坂 ASBJ 副委員長より、ASBJ の最近の活動状況についての報告が行われた。その後、基準諮問会議の委員から、日本基準の基準開発について、また、税効果会計の議論の進め方等についてのコメントがなされた。